

2月26日(金曜日)

ドル/円

需給のフローが波乱要因に

25日(木)の主な推移

ダウ平均株価

10321.03ドル
(-53.13ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

3.6324%
(-0.0585%)

NY原油先物

78.17ル
(-1.83ドル)

チャート: 30分足 25日(木)朝7時 ~ 26日(金)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

- ① 本邦輸出企業によるとみられる円買いがあった他、前日のギリシャの格下げ観測が蒸し返される形でユーロ/円が急落すると、ドル/円も大幅に下落した。
- ② 22時30分に発表された新規失業保険申請件数は49万6000件と市場予想(46万件)より弱い結果になった。また、同時に発表された米耐久財受注は前月比で+3.0%と市場予想(+1.5%)を上回ったものの、輸送機器を除いた数値は同比-0.6%と市場予想(+1.0%)よりかなり弱い数値となった。これらの結果を受け、ドル/円はドル安・円高の進行に拍車が掛かり、日本時間26日2時過ぎには約3週間ぶりの安値水準である88.79円まで下落した。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 88.50-90.00円

本日も昨日に続き、ギリシャなどユーロ圏の財政懸念にまつわる問題に対するユーロの動きが為替相場の台風の目になりそうだ。引き続き関連ニュースには十分気を配っておきたい。東京時間から欧州時間に掛けてのドル/円については、特にユーロ/円に連れる展開が続く見通しだ。ただ、本日は週末かつ月末ということもあり、需給絡みのフローが波乱要因となる公算が大きい。また、昨日のドル安・円高の急激な進行に、値ごろ感からのドル買いが入る可能性もある。特段の手掛かり材料が見当たらない場合は、こうした需給による動きがメインになるとみられ、事前に相場の方向性を想定するのは難しい。しばらく様子を見て方向感が出てきた場合にその流れに乗るのが適当とみる。

また、NY時間は下記の経済指標発表に注目したい。今週は米経済指標に悪い結果が続き、そのたびに米長期金利が低下してドル売り・円買いの展開になる様子が見られる。今晚も指標結果が市場予想を下回ればそうした動きになるだろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/26(金)	22:30		(米) 第4四半期GDP・改定値[前期比年率]	+5.7%	+5.7%
	23:45	○	(米) 2月シカゴ購買部協会景気指数	61.5	59.7
	23:55		(米) 2月ミシガン大消費者信頼感指数・確報値	73.7	73.9
	24:00	○	(米) 1月中古住宅販売件数	545万件	550万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com